

広小路通りの沿道のみなさんにお話を聞いてきました!

No. _____
Date _____

ワークショップに先駆け、7月23日、24日に沿道店舗の皆さんにヒアリングしました。その要旨を紹介します。

●広小路の移り変わり

- ・昔は「まちへ行く」というと広小路のことだった。
- ・物販が減って商店街ではなくなってきた。
- ・買い物の主流はネットになったが、広小路は駅からの通勤路という利便性がある。

●広小路の良さ

- ・ホコ天の開催など、活動を継続することが重要。
- ・まちゼミの効果で若者も来るようになり、店舗同士のネットワークにもなっている。
- ・駅に近く車が要らないところ。

●東三河・豊橋からみた広小路

- ・豊橋の歴史、文化を知って、発信することが必要。
- ・東三河全体で考えると、「海、山、川」のすべてがある地域と言われている。広小路にもキャッチーな印象づけを。

●どんな通りになってほしい?

- ・マンションなども増えて行く傾向のなかで、新しい住民たちが利用したくなるまちづくりを考えて行く必要がある。
- ・昼、夜、真夜中など時間帯を軸にしたデザインをしてほしい。
- ・自転車にも優しいまちに。
- ・子供や車いすの方などが休める場所（日かげ）が欲しい。
- ・若い人が来やすい町に。

●不安や課題だと思っていること

- ・道が新しくなるのは良いことだが、それによってどれほどの変化、効果があるのかと言えば疑問。
- ・酔っ払いが多い。
- ・歩道が凸凹して歩きにくい。
- ・ムクドリの被害が大きい。
- ・広小路店舗のオーナーに危機感がない。

アンケートより

1) ワークショップに参加して

- ・参加者全員が積極的に真剣に「豊橋」のこと、「広小路」のことを考えて意見交流できたこの時間が素晴らしいと感じました。参加者の数と熱意が地元愛を感じるいいワークショップでした。

2) 印象的だったこと

- ・『広小路』をこの街にとってどういう通りにしたいのか。通りのブランディングが大切だと感じました。
- ・商店街の方々が商店としての責任や努力の必要性を訴えていたこと。
- ・先進事例や最近の流行だと歩行者中心のみちづくりが主体で、車社会の豊橋にどう生かされるのだろうかという不安に思った。

3) その他

- ・時間が足りないと感じました。

広小路通りストリートデザインワークショップふり返し通信 vol.01

発行日：2018年10月27日

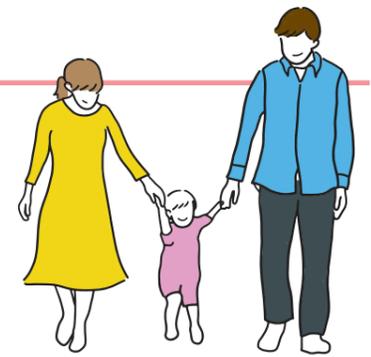
発行：豊橋市都市計画部 まちなか活性課 (TEL / 0532-55-8102 E-mail / machinaka@city.toyohashi.lg.jp)

協力：大日本コンサルタント株式会社、NPO 法人まちの縁側育くみ隊

ふり返し通信 vol.1

第1回

広小路通り ストリートデザインワークショップ の報告です。



広小路通りの魅力づくりを地域のみなさんと考えるためのワークショップを開催しています。(全3回) この通信では、第1回の様子をお届けします。



テーマ

こんな使い方したいな～ビジョンと不安を分かちあおう

- 全3回プログラム -

第1回 こんな使い方したいな
～ビジョンと不安を分かちあおう

日時 | 2018年8月29日(水)
19:00 ~ 21:30

場所 | ユメックスビル8階会議室

第2回 地域の魅力を伸ばすみちづくりへ
～まち探検と話し合い

日時 | 2018年10月27日(土)
13:00 ~ 16:00

場所 | ユメックスビル8階会議室 /
広小路通り

第3回 地域の魅力を伸ばすみちづくりへ

2018年8月29日(水) 19時より、広小路通りの第1回ストリートデザインワークショップを開催しました(ユメックスビル8階会議室)。沿道の事業者・住民をはじめとして、市民、学生、専門家、行政など約50名の方にご参加いただきました。先進事例をヒントにしながら、グループワークで希望や不安を語り合い、これからの「みち・まちづくり」を考えるはじめの一步を踏み出しました。

まちの魅力づくりとストリートデザイン事業

1. 豊橋市全体のまちの魅力づくりへ向けて

豊橋市が「SUUMO 住みたいまちランキング 2018 愛知県版」で5位となりました。前回の11位を考えると、知名度も上がってきたのではないのでしょうか。さらにまちの魅力を高めていくには、豊橋市に住んでいる皆さん自身が、まちを好きになって盛り上げていくことが重要と考えています。広小路一丁目は豊橋市全体の顔ともいえる場所です。豊橋市の誇れる顔づくり、まちの魅力づくりへ向けて、忌憚のないご意見を寄せていただければ幸いです。

伊藤 紀治（豊橋市都市計画部まちなか活性課長）

2. ストリートデザイン事業って？

「車」を中心とした通りから『歩行者』を中心とした通りへ転換し、中心市街地に『歩く楽しみ』という新たな魅力を加えることで、まちなかへの来街や居住を増やし、回遊性を高めることを目的としています。萱町通りと水上ビル（北側）通りは先行して2016年度から基本計画のためのワークショップ（*写真）をはじめ、本年度工事に入ります。広小路通りは今年全3回のワークショップを通して基本計画を作成します。

西澤 亮（豊橋市都市計画部まちなか活性課）

3. 地域の現況分析と「みち・まちづくり」先進事例紹介

森田紘圭さん（大日本コンサルタント）からは、広小路通りの明治時代からの変遷と現況分析より、豊橋全体の「顔づくり」としての課題設定が提起されました。また、「顔となるみち」のヒントとなるような国内外の先進事例について紹介がありました。



①横浜市 元町通り



②松山市 ロープウェー通り / 花園通り



③福山市 本町通り商店街



④東京蒲田 さかさ川通り
出典) 蒲田東口おいしい道計画ウェブサイト



⑤海外の事例



⑥みちの使い方いろいろ



①「こんなまちがいいな」と思う写真を選びます



②グループ内で、写真を選んだ理由をお互い発表しあい、みちのビジョンを深めます



③グループ毎に発表し、全体で共有します

グループワークの流れ >>>

>>>

>>>

日常と非日常

生活感



Photo by SF Great Streets

- 生活感がいい感じ。木陰がある。気取らない感じがいい
- 老若男女がピクニックできる道。店の外にいたくなるような雰囲気。休日は歩行者天国、ランチも外で。
- 歩道と車道の共存、歩いてきてケーキやコーヒーを楽しめる場所
- 人が集まる仕掛け、歩道と車道の共存
- お茶を飲みながらおしゃべりしたい



出典) 蒲田東口おいしい道計画

イベント

- 市役所主体でないイベント

ナイトライフ



出典) 蒲田東口おいしい道計画

- まちに灯りがとまり、日々の暮らしで生活感があふれる。ナイトスポット
- 「はしごナイト」の延長で、みんなが通りで乾杯する。灯りがたくさんあって明るい
- 休日の賑わい

安全で快適な通過交通

歩きやすさ



- 1階は歩くスペースで2階がお店。雨のときでも歩きやすい
- 歩きやすさと健全な賑わい
- 車と人の共存

まとめ

話し合われたことをふりかえり、最後に共有しました。

ファシリテーターの名畑さんによるまとめ

とよはしあいはいはぐくむ

豊橋の顔づくりから回遊を生む

夜の治安、昼のにぎわい、時間軸を考えよう

反対をつなげられるか？混ざりあいをどう仕掛けるか

一雑多さときれいさ、古さと新しさ、文化的土壌を継承しながら新しくするには？

刺激、熱狂の顔（非日常）と暮らしの顔（日常）、文化と芸術

一私達の日常は他所から見れば異常。暮らしのあるみちは観光になるかも！？

愛を育むまちのイベントやまちまるごとDIYの可能性へ

色々な楽しみしかけて歩く人いっぱい

育む視点を！長期スパンの変化のきっかけにしよう

一道路整備だけでなく、緑の管理やアーケード・看板など地元力を発揮する景観づくりも考えよう

具体的な手当てで安全安心

一段差や路面の凹凸の解消、違法駐輪対策など

車、自転車、人の共存

一歩道を歩きやすくしよう

ムクドリの心配をのりこえつつ、ほどよい緑のデザインを

→（頭文字を束ねると）

「豊橋愛育む」となりました！



広小路のビジョンを描こう

後半のワークショップでは、広小路通りがどんなみちになってほしいかのビジョンを描きました。先進事例や、昔の広小路通りの写真等をヒントにしながら、各々でこれからの通りのイメージを想像し、グループで話し合い、最後に発表し全体で共有しました。ここでは特に人気のあった写真と、全てのコメントを紹介しています。

ビジョンカード集

良好な景観

街並み



- ・建物高さや看板など街並みに統一感があるのがいい。
- ・明るい建物、建物の統一感、空の抜け感
- ・上質な感じ、気になる感じ
- ・統一感があり、落ち着いた雰囲気
- ・明るい雰囲気で魅力的、人が集まりやすそうな雰囲気歩きたい、住みたい
- ・統一感がある、おしゃれな通り。恋人と2人で歩いただけで楽しそう。適度に緑がある。お店がたくさんある。シルバー世代も新しく出会った人と歩きたい！
- ・バスケットの植栽、統一感のある建物、人中心のみち

夜の景観づくり



出典) 豊橋市の今昔

- ・神戸ルミナリエのようなイルミネーションのあるお洒落なアーケードがほしい
- ・照明を！雰囲気ができるとよい
- ・照明が古き良き雰囲気

カラー

- ・色使いが良い



Photo by SF Great Streets

テント・パラソル

- ・歩道が広い広小路にはパラソルが似合うかも（ムクドリ等のフン除けにも）
- ・テナントが街の印象をつくるので、ビルオーナーと協力してテナントをマネジメントする
- ・すっきりした空間は多様に利用できる
- ・屋外にお店が並び買い物が楽しめそう。ウィンドウショッピングが楽しめる

緑



- ・ほどよい緑
- ・適度なスペース、囲われ感、日陰、緑
- ・緑のある道。シルバー世代も新しく出会った人と歩きたい！

滞留空間について

くつろぎ



Photo by REBAR

- ・歩道にくつろげる空間（ベンチを設置）
- ・例えば「赤い椅子プロジェクト」を実践。古く要らないイスをDIYで再生し、公共空間で活用する。手作り感、おもてなし感があっていい
- ・休憩できる場所、緑陰や風よけなどの快適さ
- ・老若男女が気軽に話せる屋根付きの居場所がほしい。
- ・休憩、滞留できる場所

希望と不安を分かち合おう、グループワークでは、ストリートデザインへの希望と不安について、4グループに分かれて意見を出し合い、各班で「希望の木、不安の木」をつくりました。

ここでは全ての話題を紹介できるようにまとめています。

将来の整備について

- ・単に人が集まるだけでいいのか
- ・郊外ショッピングセンターと競合できる魅力を創造する必要がある
- ・現在の広小路の魅力は、（新宿のような）雑多な感じもあり、道路整備（美装化）でそのよさが消えてしまうのでは？
- ・整然とし過ぎて、味わいのない通りになるのでは？
- ・まちなかの文化的な土壌や、歴史的な流れが途絶えるのではないかな

- ・歩道の路面が凸凹して歩きにくい
- ・石畳が歩きにくい
- ・歩きやすさと車の通行は共存できるのか
- ・歩行者優先やまっすぐに歩ける道が実現できるのか（現状は横断歩道の動線が悪い）
- ・一方通行は反対

安全な通過交通

整備計画のプロセスについて

- ・役所中心で地元の想いに配慮されない道路整備になってしまうのでは？
- ・各店舗の個性が、通りでまとまっていけるのか不安

- ・多数集団でいるため、ムクドリが怖い。糞が落ちてきそう
- ・緑がない道路は魅力に欠けるが、ムクドリや維持管理（根上がり・落葉等）への対応は？
- ・落ち葉に対するクレーム
- ・街路樹がなくなってしまうのではないかな

街路樹とムクドリ

不安の木 tree of anxiety

- ・放置自転車がいっぱい
- ・駐輪スペースがない。どこに置けばいいかわからない
- ・駐車場を整備すべきか、しないべきか、どうしたらいいかわかる

駐車場・駐輪場

治安が悪い

- ・治安が少し悪い。ひったくりなどの被害を聞く
- ・通りが暗い（黒い）印象がある。歩くのが怖い
- ・現在の広小路は、飲み屋が多く、特に夜間の雰囲気がよくない。道路整備で安全・安心な魅力的な通りになる？
- ・飲み屋が多いため、日中の歩行者が少なく、夜は治安が悪い

その他

- ・アーケードの老朽化
- ・人が集まるようになったらゴミのポイ捨てなどによって、地元の負担が増大しないか

- ・人が歩いていない印象。特に平日の昼間
- ・平日にここに来る人のイメージがわからない

平日の昼間に人がいない

- ・シャッターが閉まっている店もある。高齢化が原因か
- ・上層階3階4階の空きフロアが意外に多い
- ・飲食業界に偏っているが昼間は営業していないところが多い
- ・オーナーや店主に危機感がない
- ・シニア世代が集える場所や、買い物のための生活利便施設が少ない

沿道の賑わいについて

tree of anxiety

希望の木 tree of hope

グループワークの流れ



①自己紹介を
しました

グループワークの流れ



②葉っぱに見立てた
カードにそれぞれ
が意見を書きました



③グループ内で発表
し、木を完成させ
ました

人が集まりやすい、 過ごしやすい空間

- ・人が集まり、くつろげる空間を
- ・座ってくつろげる空間がある通りに
- ・広げた歩道空間で、活動（お店や夜店）、休憩、いろいろ使う
- ・歩くきっかけやまちでの自分の居場所ができ、「ちょっと駅前に行こう！」という動きにつながる
- ・休める場所が欲しい

夜の広小路通り

- ・もう一度広小路で「夜店」をやろうよ！昔の賑わいと活気を取り戻したい
- ・花火から広小路に人を集める動線になる
- ・現在の夜間の賑わいは、周辺の市町からも人が来るほど
- ・夜間も安心して通行できる

豊橋の顔としての 広小路通りに

- ・「ちょっと駅前に行こう！」となってほしい
- ・広小路通りと連続する魅力的なみち（ときわ通り）との連続性が感じられるみち
- ・思わず写真を撮りたくなる店舗や街並みのある広小路になると良い

豊橋愛

- ・ここには豊橋の中心地と呼べるポテンシャルにある
- ・それにふさわしい場所にしたい
- ・豊橋“愛”があふれる通りにしたい
- ・名物いっぱい、三河弁いっぱい、地元大好き
- ・新しい発見、思い出になるみち

他地域からでも豊橋に 来たくなるように

- ・他の都市から人が流入してくる通りに
- ・豊橋にしかないお店が欲しい。
- ・若者向けのお店が欲しい

どんなみちになって欲しいか

豊橋らしい個性の ある景観に

- ・豊橋の顔となる景観を
- ・変化のあるワクワクする道
- ・空が見える道
- ・道路と周辺（街路灯、舗装、看板など）の統一感
- ・明るい雰囲気になると良い

賑わい・文化・芸術の あるまちへ

- ・賑わい⇒建物の二階以上も明るくなる
- ・ランチの店が増えてほしい
- ・遊べる、イベントできる
- ・用事がなくても歩きたくなる道（ウィンドウショッピングやイベントなど）
- ・歩く目的が欲しい
- ・ミニシアターやギャラリーなど芸術を支える施設であると良い
- ・まちの劇団があっても良い

まちの目標像

多世代が 活躍できるまちに

- ・これからの日本ではシルバー世代が増加するため、シルバー世代が会い、文化や情報を発信する場ができると良い
- ・子どもも楽しめるまち、多世代が集まれるまちになると良い

安全な通過交通

- ・誰もが（老若男女、子供連れ、家族）歩ける空間づくり
- ・歩きやすい道へ（石畳はボコボコで歩きにくい）
- ・車両通行止めを希望したい
- ・バリアフリーの道にしたい

自転車対策

- ・自転車を停めるところがある通りに
- ・放置自転車がない道
- ・自転車で来れる、止められる

歩いて楽しい道

- ・歩いて楽しい雰囲気の良い道
- ・チェーン店ではなく、専門店が並ぶ道

- ・緑陰があると良い

緑が多い道に